

九州農政局入札等監視委員会 審議概要

(ホームページ掲載日：令和2年8月26日)

開催日及び場所		令和2年7月21日(火曜日) 熊本地方合同庁舎 A棟10階 九州農政局会議室7			
委員		北里 敏明(弁護士) 谷本 たまみ(税理士) 田川 里美(ジャーナリスト)			
審議対象期間		令和2年1月1日～令和2年3月31日			
審議対象案件		289件 うち、1者応札案件7件 契約の相手方が公益法人等の案件0件			
抽出案件		7件 うち、1者応札案件4件 (抽出率2.4%) (抽出率57.1%) 契約の相手方が公益法人等の案件0件 (抽出率0%)			
抽出案件内訳	工事	一般競争		3件 うち、1者応札案件2件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名競争	公募型指名競争		0件
			工事希望型競争		0件
			その他の指名競争		0件
		随意契約		0件	
	業務	一般競争		1件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件0件	
		指名競争	公募型競争		0件
			簡易公募型競争		0件
			その他の指名競争		0件
		随意契約	公募型プロポーザル		0件
			簡易公募型プロポーザル		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件
			標準型プロポーザル		0件
			その他の随意契約		0件
物品・役務等	一般競争		1件 うち、1者応札案件1件 契約の相手方が公益法人等の案件0件		
	指名競争		0件		
	随意契約(企画競争・公募)		0件		
	随意契約(その他)		1件 うち、1者応札案件0件 契約の相手方が公益法人等の案件0件		
(特記事項)					

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問、それに対する回答等	<p>1. 令和元年度第4・四半期入札方式別発注状況について</p> <p>意見・質問なし</p>	
	<p>2. 抽出工事及び業務並びに物品・役務等契約について</p> <p>(1) 抽出工事</p> <p>①令和元年度川辺川農業水利事業水源施設（錦・相良工区）工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格はどの範囲ですか。 ・地元業者とはどの位の範囲ですか。 ・通常は受益地を参加範囲とする事が多いのですか。 ・1者応札の場合はヒアリングを行うのですか。 ・資料をダウンロードした業者というのは他にもあったのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震の復興関連工事の影響もあり、地元だけでは入札に参加する業者が少ないため九州管内に拡げていますが、本工事に関心を示したのは地元業者だけでした。 ・本事業を実施している人吉・球磨地域です。 ・予定価格により等級が決まっています。A等級であれば全国、B等級であれば九州管内、C・D等級であれば、競争性を確保できる範囲で地域を選ぶこととなっています。 ・行っています。当該工事では、資料はダウンロードしたが入札には参加しなかった3者に対し、不参加の理由を聞き取ったところ、技術者が足りないという事でした。また、1者の場合だけでなく、参加者がいない場合にも聞き取りを行い、今後の公募条件設定改善の参考としています。 ・資料をダウンロードしたのは受注業者と聞き取りを行った3者だけでした。
	<p>②川辺川農業水利事業東幹線水路他閉塞工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3者から1者応札のヒアリングを行っていますが、何者以上等の基準があるのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「何者以上」という基準はありませんが、当該工事の入札資料等をダウンロードした者からヒアリングを行う事としており、本工事については、資料をダウンロードした4者のう

	<ul style="list-style-type: none"> ダウンロードした業者はどの様にして把握しているのですか。 	<p>ち、受注業者以外の3者に対しヒアリングを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子入札システムにより入札を行っており、利用者登録した業者でないとダウンロード出来ませんし、ダウンロードした場合は業者名が分かるようになっています。
	<p>③大淀川右岸国営施設機能保全事業 天神ダム土砂流入防止施設建設工事 (第1回変更)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当初契約の入札で、3者中2者が予定価格超過となっていますが、予定価格の妥当性はどうか判断していますか。 契約変更は着工後ですか。 変更内容としては運搬費の増加が大きいとの事だったが、どの位の割合ですか。 変更後の土砂受入地2ヶ所の土量の割合はどのくらいですか。 もう少し近くに無かったのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> 予定価格の積算にあたっては、農林水産省で標準歩掛り等を定めており、それに基づいて積算しています。落札されたということは妥当であったと判断しています。 着工後に現場条件に変更が生じた場合等に設計図書を変更の上、契約の変更を行います。 変更増額の内、運搬費が6割くらいです。 受入地①が約5,000m³、受入地②が約20,000m³で、1：4くらいの割合です。 場所は色々探してみましたが、土量も多く、他にはありませんでした。
	<p>(2) 抽出業務 ①令和元年度 大淀川左岸国営施設応急対策事業 広沢ダム管理制御施設実施設計業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料をダウンロードした業者が16者もあったのに、なぜ1者応札となったのですか。 入札方式の「実施方針重視型」とは何ですか。 例えば複数箇所のダム管理制御施設を一緒に更新するとコストが抑えられるものです 	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に発注件数が非常に多く、資料を入手し内容を判断した上で自社の得意分野に絞って入札に参加する業者が多いようです。 総合評価落札方式のうち、価格点と技術点の割合が、1：1のものです。 それぞれのダムで更新時期が違うので、そういうことにはなりません。

	か。	
	<p>②令和元年度八代平野農業水利事業 北新地排水機場（土木施設）実施設計 業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案書審査委員会はどこに設置されているのですか。 ・外部の者も入っているのですか。 ・技術提案書の特定テーマとは何ですか。 ・テーマに基づいてどうするのですか。 ・評価点数の配分は毎回同じですか。 ・技術提案の点数配分が大きく、落札業者は技術提案で逆転していますが、配分としては妥当なものですか。 ・過去の業務成績の評価では、評価する件数が5件までとなっていますが、各社とも5件以上あったのですか。 ・今回は簡易公募型プロポーザル方式で4者から選んでいます、どういう選び方ですか。 ・公募型プロポーザルと簡易公募型プロポーザルは金額で分けているだけですか。 ・事業所の中で誰が技術提案書審査委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・本契約は事業所契約ですので、事業所内に設置している委員会です。 ・事業所の職員のみです。 ・具体的な取組の方法を求めるテーマであり、排水機場の工事を行う場合、潮干狩り場や牡蠣小屋等周辺地域に十分配慮が必要であることから、工事用道路・施工ヤードの配置計画や仮設計画の樹立における留意点をテーマとしています。 ・テーマに対する技術提案を評価することになります。 ・基本的には同じであり、5段階の評価基準を公告時に示しています。 ・本省で定めた基準に基づき評価・採点しており、恣意的な点数配分はありません。なお本業務は、高度な専門技術や創意工夫に基づく幅広い構想力・応用力が求められる業務としてプロポーザル方式を適用しており、技術提案を重視した配点となっています。 ・各社とも、5件以上の業務実績があります。 ・7者以上の応募があった場合は、選定基準に基づき7位まで選定し、技術提案書を提出していただきますが、今回は公募の結果、4者の応募でしたので、選定基準に基づき欠格がなかったことから4者に技術提案書の提出をいただいています。 ・金額のみで判断します。 ・事業所の予定価格・積算書の審査担

	<p>のメンバーになっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバー全員で点数をつけるのですか。 	<p>当以外の職員がメンバーとなりますが、誰がメンバーかについては公表しないことになっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーではない者が仮評価を行い、その仮評価について委員会で合議し、評価を確定しています。
	<p>(3) 抽出物品・役務等 ①行政情報システムパーソナルコンピュータ用製品ライセンスの購入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林水産省全体をまとめて本省で入札を行っているのですか。 ・1者入札となっていますね。原因は何ですか。 ・受注者は前年度と同じですか。 ・シェアは予算枠で決まるのですか。 ・年間契約となっているので、期間が切れたら再度契約するのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産省とマイクロソフト社とで包括契約を結んでおり、ライセンスの数量をまとめることで割り引きした価格で購入することが出来ます。 ・入札を行った本省に確認したところ、前年度までは複数者の応札があったと聞いています。今回は1者応札となったので、入札説明書を取得した業者にアンケート調査を実施したところ、新規参入者にとって仕様書の一部の記述が分かりにくかったとの意見があったようです。それを踏まえ、今年度の仕様書はより分かりやすい記述に修正しているそうです。 ・はい。 ・ライセンスの必要数量で決まっています。全体でおよそ59,000式のうち、九州農政局では九州農政局分として2,172式の契約を行っています。 ・数量の見直しを行い、再度契約することとなります。
	<p>②平成31年度有明海特産魚介類生息環境調査（熊本県沖）委託事業（第1回変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4県分（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県）を熊本県がまとめて調査を行うのですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各県の海域（福岡県沖、佐賀県沖、長崎県沖、熊本県沖）を対象としてそれぞれ調査を行います。

	3. 再度入札における一位不動状況について 意見・質問なし。	
	4. 指名停止について 該当無し	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	無し	
[これらに対し部局長が講じた措置]	無し	

事務局：九州農政局総務部総務課

(注1) 必要があるときは、各事項を著しく変更することなく、所用の変更を加えることができる。

(注2) 公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人又は公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。